

2019年4月10日

課題名：CCUに入院した入院前歩行自立心不全患者の
退院時歩行自立に関連する因子の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、CCUに入院した入院前歩行自立していた心不全患者さんの、退院時歩行自立に関する因子を調べることによって、心臓リハビリテーションにおいて早期に歩行自立度を判断する指標を作ること目的として、研究を実施しています。

◆対象となる患者さん◆

2016年7月から、2018年6月に、当院CCUに心不全と診断され入院された方。

◆研究に使用される情報◆

・患者背景因子

年齢、性別、Body Mass Index (以下 BMI)、心不全の基礎疾患 (虚血性、弁膜症、高血圧、不整脈、その他)、介護保険の有無、同居の有無、認知症の有無、障害老人の日常生活自立度判定基準、既往歴、心不全再入院率、心臓リハビリテーション (以下、心リハ) 開始時安静度

・急性期心不全治療状況

大動脈内バルーンパンピング法 (Intra Aortic Balloon Pumping : 以下 IABP) 使用率、経皮的心肺補助 (Percutaneous cardio pulmonary support : 以下 PCPS) 使用率、人工呼吸器装着率

・入院中経過

左室駆出率 (left ventricular ejection fraction : 以下 LVEF)、左室拡張能指標の E/e'、albumin (以下、Alb : g/dL)、total lymphocyte count (以下、TLC : μ /L)、total cholesterol (以下、T-cho : mg/dL)、Controlling Nutrition Status (以下、CONUT)、haemoglobin (以下、Hb : g/dL)、brain natriuretic peptide (以下、BNP : pg/dl)、creatinine (以下、Cr : mg/dL)、BUN (mg/dL)、blood urea nitrogen (以下、eGFR : mL/min/1.73m²)、C-reactive protein (以下、CRP : mg/dL)、譫妄率、入院中合併症の有無

・心リハ進行状況

入院から心リハ開始日数、初回端座位保持率、心リハ開始から端座位～歩行開始日数、心リハ開始から歩行自立日数、開始 Functional Independence Measure (以下、FIM) 運動・認知、握力、5m 歩行速度、膝関節伸展筋力、6 分間歩行テスト (以下、6MWT) 距離、6MWT 完遂率、転帰、在院日数、心リハ外来紹介率

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録からの情報を利用します。

- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
- * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

リハビリテーション部 研究責任者 梶原 祐輔

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明